

接着技術の拠点整備を目指して

接着・接合技術 コンソーシアム

Technological Consortium for Adhesion and Bonding (T-CAB)

○ 代表挨拶

産総研に「接着・界面現象研究ラボ」を設置し、国家プロジェクトや様々な企業ニーズ・課題に対応するべく、多機関共同研究などを実施しております。

当コンソーシアムも設立7年目を迎えるに当たり、これまで重点的に研究開発を推進していた自動車や航空機用の構造接着技術のみならず、エレクトロニクス、インフラ、精密接着、研究DX、国際標準化など幅広い展開を見せてきております。

このような中で今年度は資源循環ワーキンググループを立ち上げることで、特に会員から大きな興味を寄せられているSDGsやカーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーを勘案した議論を行います。また、様々な研究会、見学会、シンポジウム等を通して、連携構築、技術展開を図っていきたくと考えております。

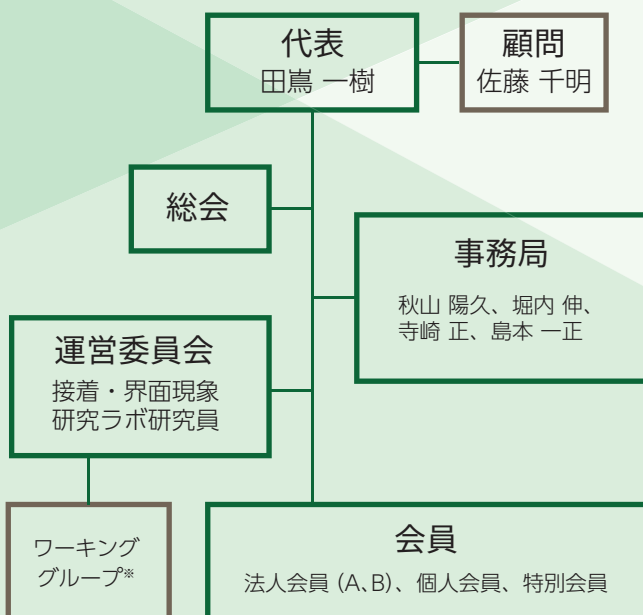
接着・接合技術コンソーシアム代表 田嶋 一樹

○ 主な事業

接着・接合技術に関する

- ①情報の収集及び会員間での共有
- ②講演会、見学、ワークショップの開催等による情報提供・技術交流
- ③共同研究立案（ワーキンググループ）
接着接合基盤技術共同研究体（多機関共同研究）の立ち上げ
*当コンソーシアムの外で実施中
- ④広報・啓蒙活動
展示会出展、ニュースレターの配信
- ⑤国際標準化
- ⑥接着拠点の整備

○ 組織図



※ワーキンググループ：主に多機関共同研究で実施する関連技術テーマや方向性について議論する場

○ 会員種別と年会費

法人会員 A：企業 30 万円 / 年
ワーキンググループ参加可能、総会議決権あり

法人会員 B：企業 5 万円 / 年
ワーキンググループ参加不可、総会議決権なし

個人会員：無料
大学、公的研究機関等の研究者及び会長が特別に認めるもの

特別会員：無料
府省庁等日本国政府機関、並びに地方自治体等法人

○ 会員数（2023 年度）

法人会員 A：企業 34 社（発足時：7 社）

法人会員 B：企業 32 社（発足時：4 社）

入会のお申し込みは、ホームページより入会申込書をダウンロードの上ご記入いただき、事務局までメールにてお送りください。

✉ airl-consortium-ml@aist.go.jp



<https://unit.aist.go.jp/nmri/airl/IT-CAB/>

○ 設立趣旨（背景・経緯・目的）

自動車や航空機などの移動体の軽量化には、適材適所に異種材料を配置したマルチマテリアル構造が有望であり、この実現のためには、異種材料を接着接合することが適しています。しかし、接着接合には生産性や耐久性の観点で解決すべき問題が多く、異種材料接着接合技術（構造接着技術）の開発は、我が国の産業競争力強化の観点で極めて重要です。

産総研ではこの社会情勢を鑑み、2015年に「接着・界面現象研究ラボ」を設置致しました。前記構造接着技術の確立のための接着界面の分析技術、接着剤の開発、接合部の強度評価および耐久性予測技術、接着・接合のための金属やプラスチックの表面処置技術、並びに接合部の検査技術、また、接着剤に関わる様々な産業技術のさらなる醸成のため、多岐にわたる技術開発の統合を見据えた接着拠点の整備を行うとともに、さらに接着・接合技術に関する国際標準化において我が国がイニシアティブをとることを目的とし、分野の垣根を超えた英知集結に資する連携構築の場として、当コンソーシアムを設立致しました。

○ コンセプト



○ 活動例



第3回接着・接合研究シンポジウム
招待講演（Germany, Fraunhofer IZFP）
会場：ベルサール神田（東京）

企業ワークショップ
講師による話題提供



企業ワークショップ
グループディスカッション

○ 施設

◆ つくばセンター

・つくば中央第5事業所
（当コンソーシアム事務局、
接着・界面現象研究ラボ）

・つくば東事業所
（接着関連研究施設）

・つくば中央第2事業所
（接着・界面現象研究ラボ）

MAP

↑クリックすると、産総研：つくばセンター
（aist.go.jp）のサイトが開きます。

◆ 九州センター

（接着・界面現象研究ラボ）

MAP

↑クリックすると、産総研：九州センター（aist.go.jp）の
サイトが開きます。



接着・接合技術コンソーシアム

〒305-8565 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 5

国立研究開発法人産業技術総合研究所

材料・化学領域 ナノ材料研究部門 産総研コンソーシアム

Tel. 029-861-0582 E-mail: airl-consortium-ml@aist.go.jp

<https://unit.aist.go.jp/nmri/airl/T-CAB/>